

画業30年記念

# 永田萌の世界展

～夢がうまれるその時に～



晴れた日に

2006年9月30日[土]～10月29日[日]

開館時間／10:00～18:00(最終入館は17:30まで)

休館日／月曜日(ただし10月9日は開館、10月10日休館)

観覧料／一般 500円(400円)

大学・高校生 300円(250円)

小・中学生 200円(150円)

※( )内は20名以上の団体割引料金

■主催／喜多方市美術館

■共催／きたかた文化事業ボランティアの会

■企画／妖精村

■協力／アートシステム

■後援／福島民報社 福島民友新聞社 朝日新聞福島総局 読売新聞福島支局 毎日新聞福島支局 産経新聞福島支局 河北新報社福島総局 NHK福島放送局 福島テレビ 福島中央テレビ 福島放送 テレビユー福島 ラジオ福島 ふくしまFM 喜多方シティエフエム



画業30年記念

# 永田萌の世界展 ~夢がうまれるその時に~

Moë

永田萌の絵は、おもわず笑みがこぼれる楽しさと、人の心を柔らかく包むやさしさ、美しい色づかいが魅力です。その世界は、永田萌自身の幼い頃の記憶と重なります。

豊かな自然の中で遊んだ少女のころ、山や川、森には目に見えない神さまがいること、それを大事にする心を教えられました。永田萌の絵には、野の草花と無邪気にたわむれる愛らしい妖精たちが登場します。そこには画家の、魂を慈しむ心、温かなまなざしが感じられます。

また永田萌は、美しい色をながめることが大好きで、目に映るものを形よりも色で覚えてしまう少女でした。永田萌の絵を彩るのは、カラーインクという絵の具です。それは鮮やかで明快な色も、はかなく柔らかな色も描き出すことができます。この豊かな表現力を持つ絵の具と、画家の色に対する鋭い感性とが溶けあって、永田萌独自の色が生み出されました。それは実に奥深く、見る者を幻想の世界へ誘います。

本展は画業30年を記念して、初期のイラストから最新の絹絵まで、代表作約70点を紹介いたします。花と妖精の画家・永田萌の夢あふれる世界をどうぞご覧ください。



胡蝶 2002年



いちごだいすき 1985年



木漏れ日のロンド 2000年



いそいで冬じたく 1985年



逢魔ヶ刻の幻想 2003年



南への旅 2001年

## 【作家プロフィール】



**永田 萌** (ながたもえ) イラストレーター・絵本作家  
1949年兵庫県加西市生まれ。出版会社などでグラフィックデザインの仕事に携わった後、1975年にイラストレーターとして独立。『花待月に』（偕成社刊）で、1987年ポーロニャ国際児童図書展青少年部門グラフィック賞受賞。カラーインクを駆使して豊かな色彩と想像力で描き続ける「花と妖精」の世界は国内外を問わず広く親しまれている。画集やエッセイなど、これまで130冊余を出版。現在、学生時代から居住する京都で「妖精村」を主宰する。

## 関連事業

### 永田 萌 講演会

9月30日(土) 19:00より〈開場18:30〉  
会場／喜多方蔵の里イベント蔵  
入場料／1,000円(展覧会もご覧になれます)

### 永田 萌 サイン会

9月30日(土) 1回目11:00 2回目14:00  
会場／美術館ロビー  
美術館内で購入された図録、書籍、複製画に限らせて頂きます。  
各回 60名様。

## ◎次回の展覧会

# 長谷川雄一木版画展

会期／2006.11.3-11.26  
会場／喜多方市美術館

長谷川雄一は1945(昭和20)年、会津若松市に生まれました。斎藤清に私淑し独自の版画技法を確立しました。個展を中心に発表活動を展開し、ドイツ、アメリカなど海外でも活躍しています。長谷川雄一の初期作品から近年までの作品をたどって、その独特な構成と色彩の世界を紹介します。



## ◇交通のご案内

- ・JR喜多方駅から 約1.5km 徒歩20分  
タクシーで5分
  - ・磐越自動車道会津若松ICから 約19km 車で30分
  - ・磐越自動車道会津坂下ICから 約20km 車で30分
- 車でご来館の場合は、喜多方プラザ文化センターの駐車場をご利用ください。

## ■お問い合わせ

喜多方市美術館  
tel. 0241-23-0404  
喜多方市美術館のホームページ  
<http://www.city.kitakata.fukushima.jp/bijutsukan/>